診察室で医療と介護を考える

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　小川内科胃腸科医院　　小川紘太郎

日々、高齢者の診療をして感じるのは、高齢になればなるほど血圧やコレステロールの値などといった数値よりも、いかに現状の生活を維持していくかが大事で大変かということです。自ずと患者さんや御家族と話す内容も生活の中身に関わることが多くなりますが、食事、入浴など含め介護サービスにより何とか生活が成り立っているという事が多々あります。特にコロナ禍となり、デイサービスやショートステイを利用できなくなるもしくは利用しなくなることで本人や家族の生活の質が落ちることも少なからず見受けられ、介護サービスの重要性を再認識しました。

また、医学的な管理においても、ケアマネージャーや看護師、介護士、ヘルパーさんなど様々な職種の方達からの情報が役立つことが多く、そのような面でも多職種連携が重要だと感じます。朝倉は都市部と比べると「顔の見える関係」を作りやすい環境であり、これからも医療者・介護者間でこまめに相談できれば有り難いと思います。